

五代教主作 灰釉茶盌 | 銘「みろくの春 (別名・みちのくの春) | [ヨルダン土・天恩郷梅釉] **万盌のうちの一盌**

成 24年 (2012)

題字 出口直日

1 巻 第521号2 行 大本東京本部東京宣教センターセンター長浅田秋彦 〒 110-0008 東京都台東区池

TEL 03-3821-3701 (IP) 050-5510-9502 FAX 03-3821-5283 URL http://oomoto-tokyo.com

今月の聖言

世を救ひゆく伊都能売の魂

出 口王仁三郎聖師

絵に歌に文に真実をあらはして

から飛躍する首都圏宣教 東京宣教センター長 浅さ 田だ 秋き 彦な

『お作品展』

東京宣教センターも開教百二十年の佳節を首都圏宣教の飛躍の年としなければなりません。 る心臓部でございます。首都の動静は日本全土に大きな影響を及ぼすものがございます。 東京本部竣成祭 慶祝開教百二十年も下半期に入りました。八月七日には慶祝瑞生大祭を迎えます。東京本部 (昭和四十三年)のごあいさつの中で三代教主さまは、『首都は日本におけ 東京

宣教を大きく進展さすべき時機の到来を強く感じる次第であります。 本をあまねく照らしますことを念願いたす次第でございます』と述べられています。 新東京本部の立替えは、 開教百二十年の記念事業のさきがけの建設であり、 まさに首都圏

H

東京本部から始まる芸術宣教活動の気運を、一過性に終わらせず、各主会で受け継いでいた 月六日から十二日、東京都北区王子にあります「北とぴあ」で開催することが決定しました。 続いて同年三月、神奈川主会主催によります作品展を、鎌倉芸術館に於いて開催されます。 このたび、東京本部が主体になって「出口王仁三郎とその一門の作品展」を、平成二十五年 関東教区全体に広がることを期待するものであります。

伝えることです。 聖師さまは、『芸術は宗教の母なり』と説かれ、美によって神を感得する道を示されました。 大本の宣教は、 宣教活動をタテとして、愛善(芸術)運動をヨコとし、み教えを広く宣べ

くことが大切であります。 ると共に、さらなるお世話活動を継続して、最終的には大道場修行へとご案内させていただ して、どれだけの招待券を配布し、お誘いするかによって、作品展の成否が決まると思います。 このたびの作品展は誠に重要なご神業であると拝察します。その後の首都圏宣教を左右す そのためにも、 大本のお作品を出来る限り多くの方々にご覧いただくことが大事であります。 今後広報活動に力を入れなければなりませんが、 全信徒の知人・

「出口なお・出口王仁三郎の世界を語る」より

一本および日本人の使命

―日本は世界の要・



本日は、日本また日本人の心情の世界についてお話させていただきたいと存じます。近年よく耳にするのが、世界との外交で、「日本人の顔が見えない、との言葉です。ニュースで報道される度に複雑な思いになるのですが、これは、日本人の確固たる精神性が明確になっていないことに、一つの神性が明確になっていないことに、一つの原因があるように思います。

いでしょうか?本人は、大切な何かを忘れてきたのではな本人は、大切な何かを忘れてきたのではなて百五十年近くを迎えますが、その間に日日本は明治維新以降、近代文明を目指し

十八世紀イギリスで起こった産業革命は、それまでの農業を中心とした営みから、工業製品が大量生産される時代となりました。この一大変革は、世界の物質面とりわけ情報、生産、流通といった極めて高い利便性を私たちに提供し、物の豊かな生活を営むことができるようになった点では、大きな功績があります。しかしこの欧米文明は、大きな功績があります。しかしこの欧米文明は、大きな功績があります。しかしこの欧米文明は、大きな功績があります。しかしこの欧米文明は、大きな力績があります。

ました。 良な霊性が劣化していくことを警告してき に三郎の二人の教祖は、人の本来崇高で善 明治二十五年の開教以来、出口なお、王

王仁三郎は、「工業が栄えれば、人口が増える。それに伴い生存競争が起こり、そこに格差が生まれる」と。欧米文明社会の本質は、財力があり、地位の高いものが人を支配するとの考え方に立つ、優勝劣敗、弱支配するとの考え方に立つ、優勝劣敗、弱な社会を、獣の世、といって、厳しく戒めな社会を、獣の世、といって、厳しく戒められています。

調子が悪くなった車のエンジン部分をそっまた小児は、長期脳死となることが分かっており、成長し続けるといわれています。生命の尊厳さを軽んずる脳死臓器移植は、長期脳死となることが分かっており、成長し続けるという事例もあります。

を走っているように思えてなりません。に移植するあり方に、合理主義文明の先端

||||世界統一の神業地・日本|||

混乱て来て』 学と知恵と金の力とで、世界を自由自在に学と知恵と金の力とで、世界を自由自在に

が思い込み、進んで受け入れたのです。 が思い込み、進んで受け入れたのです。 が思い込み、進んで受け入れたのです。 が思い込み、進んで受け入れたのです。 が思い込み、進んで受け入れたのです。 が思い込み、進んで受け入れたのです。

さらに、『明治に成りてからの人民は追々と日本魂が外国へ移りて了ふて人民の格といふものが低うなりたから名よりも格よりも金銀ばかりに心を奪われて……』とありますように、今日も、その婚害が、著しい格差社会を生み、さらに社会制度の破綻を招いているのが現状ではないでしょうか。

「日本は世界統一の神業地」。これは大本のみなる」

使命を、神さまは定めておられたのです。実は、天地開闢の当初より、日本の国の

くり取り換えるように、

鼓動する心臓を他

王仁三郎は、「三様の日本論」を説いています。先ず小日本とは、私たちが住んでいる極東の日本です。中日本というのは、地る極東の日本です。中日本というのは、地守宙全体のことです。この小中大の日本は、中一貫不離の関係を有しておりますから、中心が良くなると、当然全世界も、宇宙全体心が良くなると、当然全世界も、宇宙全体も良くなっていきます。

りせずにはおれません。可欠な国」であるという日本観にもびっく可欠な国」であるという日本観にもびっく

異邦人の目に映った日本

あると、その感動を綴っています。
風、町並みの空気は透明で、清澄なもので
風、町並みの空気は透明で、清澄なもので
はいいであると、その感動を綴っています。

打ち、 は日の昇る方向に顔をむけて柏手を四たび れは神式のお祈りをする前に人々が決まっ 知っていたとは似ても似つかぬ世界」と述 界、土地も人も空も、これまでよそで見て て微笑みかけてくる世界、 うな人々が、幸福を祈るがごとく、そろっ てする清めの手続きである。 べ、「彼等は手と顔を洗い、口をすすぐ、こ ゆったりと穏やかで、声をひそめて語る世 できている世界、小柄で、見るもやさしそ われのところよりも、こぢんまりと優雅に 日本人の印象については、「すべてがわ 続いて祈る。 パンパンと鳴るその音 あらゆる動きが それから彼等

当時の日本人がいかに素朴で、敬神の念に 上げているのである」と書き留めています 光の女君であられる天照大神にご挨拶申し ほどに激しさを増す。人々は皆お日さま はまるで、一続きの一斉射撃かと思われる 道湖湖畔での朝の風景です。仕事始めの朝 番に、お天道さまに手を合わせる姿は、 四拍手をしているのは、 島根県松江市宍

厚かったかということがわかります

動の取れる民族なのかもしれません。 神淡路大震災の時も同様です。日本人は苦 る態度に世界中が賞賛しました。これは阪 の避難所での整然とした行動、人を思いや らず伝承されていると思う局面にあいます。 しい、厳しい状態にある時にも、冷静な行 今日の日本人にも、そのDNAが少なか 昨年の東日本大震災では、被災された方々

は許せないんです。 困った状態にある時、 も火事場泥棒も、これは同じ窃盗です。 で悪事を働くことは、 かし、日本人はその差を歴然と批判します。 火事場泥棒という言葉があります。 その弱みにつけ込ん 日本人の美風として 泥棒

の手元に戻るということは当然考えられな 管してくれていました。彼女は信じられな シーで店に戻ると、店員さんがちゃんと保 されましたが、同行していた日本人がタク パスポートやクレジットカード、 いことで、 いというような顔をして、感謝されました。 した。その女性は悄然として、とても落胆 一式が入ったお財布を置き忘れてしまいま した。都内で買い物をした際に、うっかり 先日、ブラジルから大本信徒が来日しま 治安の悪いブラジルでは、 「日本は素晴らしい国です」と、 忘れ物が本人 現金など

> 大変信用を寄せていただきました。 て、拡充していかなければなりません。 私たちはこういった気質をもっと練磨し

世界文明を発信する国

使命があるのです。 うにするところに、 て消化して、精錬して、より以上の美しい あり、日本人だけです。それらの文化を全 ると、総課程を修了したのは、 までもみな吸収してきました。学校に例え 国の文物を吸収し、インドの哲学をも吸収 ことごとく吸収してきました。それは、中 はるかに長い年月をかけて、世界の文化を す。今日まで日本人は、他のどの国よりも るべき重大な責任があるとも示されていま ものとして、これを世界に広く行き渡るよ し、さらにヨーロッパの文化、学問、思想 日本人の使命には、 日本人の生命があり、 世界経綸の指導者た 日本だけで

実践していることです。 本人とは〝義理と人情〟だと言っています。 彼のすごいところは、その義理人情を自ら 多彩な分野で活躍されている方ですが、 タレントで映画監督の北野武さんは、 Н

で生きている方です。 くあるそうです。 ませて帰ってしまうというエピソードも多 者が気づかないうちに全員分の支払いを済 同じです。彼らを食事に誘った折、 は、そのもてなしに感動してしまいます。 中は徹底的にお世話をするそうです。相手 の際には自らが空港に出迎えて、滞在期間 が、外国の友人が来日することも多く、そ 北野さんは、海外でも活躍されています また、自分の弟子やスタッフに対しても まさに義理と人情の世界 周りの

> 70%の視聴率を超えています。 る選手の多くが親しんでいるそうです。 の『キャプテン翼』は世界の一線で活躍す ボールの『アタック・ナンバー1』、サッカー と、『ドラゴンボール2』は、 んで読まれています。例を挙げて申します 日本のマンガやアニメが世界中で喜 フランスで 女子バレー

それが今、世界が受け入れつつあります。 日本人の非常に大切にしている精神性です。 義、友情、正直、義理、人情のそれぞれは、 を通じて世界に伝播されている訳です。正 勤勉な日本人の価値観が、マンガ・アニメ 件だそうです。その結果、 が描かれています。これは絶対的な必要条 ますが、常にその根底に「正義」や「友情 マンガの世界は一見ふざけたように見え 正直で真面目で

|||||日本魂の本質|||||||

す。 化があります。人は、自然と共生している お陰で、生かされているという価値観です。 べてのものに神霊が宿るという、 にその管理を人間に任した」という教えで 西洋は、「神はこの大自然を管理するため 日本の伝統的な価値観の一つに、万物す 東洋の思想とは違います。 内面的文

をいただく、という意味です。動植物の命 きます」と唱えます。 な気持ちと感謝の気持ちを持って「いただ ます」と唱えます。それは、その食材の、命 を摂取して、命を存えている。だから謙虚 私たち日本人は、 食事の際に「いただき

可欠ではないかと思います。 この精神性は、これからの 時 代に必要不

王仁三郎は次のように示しています。それ 日本魂の本質は、 いかなるものなの か

> 霊魂であると言っています。 グレート) から、 天地を創造した元の神 人類に付与された純粋な (サムシング・

地の先祖の神の精神と合一した心であるぞ 先ほどの日本論からもわかるように、決し ているようにとられるかも知れませんが、 て日本人のみを指すものではありません。 また、その働きは、『日本魂と申すのは天 日本魂という字から、日本人だけが持っ

すのは、 守る霊魂を申すぞよ』とあります。 も嘘は申されず、行儀正しう天地の規 出口なおの残した筆先にも、 請け合うた事の違わんよう、一つ 『日本魂と申 処則を

よ』とも示されています。

持ち主はいます。 たり、目が青かったり、肌の色が黒い外国 いのがいっぱいいる。逆に容姿が金髪であっ 人たちの中にも、 外面は日本人であっても、魂はそうでな 内面において、 日本魂

伝統的価値を継承してきた日本語です。 「もったいない」という言葉は、 国 0

愛し、 もおられます。 の言語にも存在しない概念である。 副大臣のワンガリ・マータイさんが、この ながりを感じ取れる日本魂を持っ べられましたが、このように神、 「もったいない」を世界に広めてくれました。 マータイさんは「この言葉は、 ノーベル平和賞受賞者でケニアの元環境 敬意を持って接する思想です」と述 世界のど 自然のつ た外国人 自然を

ていることを有難く感じるだけではなく いかに発揮していくかなのです。 大切なのは日本魂という霊魂をいただい

阿づまの光

く発信していく時期を迎えています。

今 日、

日本人は、この精神性を世

界に広

信仰の根源は「まつり」にあり

東光苑秋季祭式識習会

程 9月29日(土)午前9時より受付

~30日(日)午後4時ごろ閉講予定

東光苑(大本東京本部・東京宣教センター)

参加費 1人1,000円

※ 食事・宿泊代は別途実費を徴収します

初級クラス 基本動作から月次祭まで

中級クラス 大神鎮座祭・祖霊鎮祭・年祭・合祀 祭など

特別クラス 葬祭斎主 (誄詞作文)・袍の着付けな どを実習

※ 特別クラスは祭式認定級の試験はありません

持参品 笏、大本祭式の本、帯または紐(懐笏時に必要)、 筆記用具、動きやすい服装、足袋(あれば履く方 が動作が容易)、宿泊用品(宿泊の方)

※ 笏は稽古用を貸与可能

受講クラス・食事・宿泊を明記の上、大本東京本 申込み 部祭務課「秋季祭式講習会」宛にお申込み下さい

40人 ※ 定員になり次第締め切りとします

切 9月17日(月)

初級・中級の大本祭式認定試験は、本年3月の春 季祭式講習会をご受講された方が対象となります



があいさつに立ち、 東京宣教センター長 上半期に口丹波 んが担当した。 祭典後、浅田秋彦 ・大

> 月六日から十二日 二郎とその一門の作

行され、三百八十人が参拝した。

祭員は神奈川主会、少年少女祭員は同主

一伶人は

添

あ

分から、斎主・和田桂一祭務課長のもと執

東光苑月次祭は七月八日、

午前十時一

東

苑

次

祭

修行へとお導き・ご案内することが首都圏 本公開講座や生きがい講座、 を開催することを発表した。 主催の までの 宣教の大きなうねりになる」と述べた。 を会場に、 「出口王仁三郎とその一門の作品展 週間、 東京本部・東京宣教センター 東京都北区王子の 「作品展から大 さらに大道場 北とぴ

催された「出口王 阪・小樽で盛大に開 青松会長会議や直心会東京連合会によるバ 直会後、 二階講座室において、

ザーが行われた。 出口なお・出口王仁

鄅

の世界を語る

午後七時から八時三十分まで、 \Box 王仁三郎の世界を語る』は、 第百十三回大本公開講座『出口なお・出

紹介。さらに来年一 の後の宗際化活動を 観と海外作品展とそ ともに、大本の芸術 品展」を振り返ると 航空会館において、

神を紹介したほか、 解できれば、 との関係についてや神とともに生きるため 「大本三大学則」を詳しく解説。 心得を説いた。 講座では、大本の神観や科学者から見た 神によって生かされていることを理 たとえ困難が生じても道に迷 「人間は生きているのでは 神を感じる方法として また神と人

ていることを意識して生活しようと思いま (三十九歳・女性・一般)」「真理を追究 /加者からは「すべての物に神がやどっ している科学者であ

るのだと感じました 仕業だと理解してい 象・秩序を神による は説明しきれない現 るからこそ、 四十五歳・男性 般)」などの感

あやつるもの―」と題して開催された。 加者は二十五人 ター長を講師に (内、一般八人)。 「宇宙創造神と人―人間を 参

浅田秋彦東京宣教セン

港区新橋の 七月十八日

うことはなくなる」と力説した。

9 日

19日 (水) 午後7時~8時30

23日(日)午前10時30分 三代教主毎年祭 (22 年)

29日 (土) 30日 (日) 東光苑秋季祭式講習会

(日)午後6時~8時0

30 日

秋をめでる夕べ (旧8月15 H

が寄せられた。

東光苑主催 祭典 · 行事予定

関東教区

7 日 火 午前10時30分

12日 (日) 午前10時30分

開教120年瑞生大祭遥拝祭

東光苑月次祭・市杵島姫命例祭

15日(水)午後7時~8時30分

講題 「出口なお・出口王仁三郎の世界を語 「あの世」を知って生きる 「あの世」と「この世」

講師 (木) 夕拝時 森 良秀(東京宣教センター次長)

29日 (日) 夕拝時 神集祭遥拝 初日・

旧7月

6 日 23 日

神集祭遥拝(最終日・旧7月12

月

秋季合同慰霊祭 東光苑月次祭(長寿感謝祭) ፀ 午前10時30分

講題 芸術は宗教の母なり 「出口なお・出口王仁三郎の世界を語る」

宗教即生活即芸術

浅田秋彦(東京宣教センター長)